

PARTNER

PARTNER

2012.10.16 発行

No. 34

主な内容

- 認め合えば、女も男も輝ける！
- あなたのバランスは？
- 今後のイベント情報
- 女性相談室のご案内

発行 はだの市民が創る男女共同社会推進会議

事務局 秦野市役所暮らし安心部人権推進課
秦野市桜町 1-3-2 TEL.0463-82-7618 FAX.0463-82-6793

E-mail jinken@city.hadano.kanagawa.jp

認め合えば

女も男も輝ける！

平成二十四年六月二十三日、秦野市立本町公民館で漫才師・林家カレージさんによる「男女共同参画笑劇場」が開催されました。

笑い溢れるお話の中には、男女共同参画を実践するためのヒントがたくさん詰まっています。今回は、その貴重なエピソードから、男女関係なく、一人の人間として豊かな人生を送るヒントをお伝えします。

違いは個性

男女共同と言っても、男と女に違いがあるのは当たり前のことです。体の造りだけでなく、考え方も違います。「男らしさ」「女らしさ」



ちよつと
考えて??

田んぼの中にカエルがいる。子ども達が、石を拾って、カエルに投げつける。石を投げる子どもにとっては、単なる遊びだが、当たったカエルは、けがをし、場合によっては死ぬんだよ。

講演の中で、カレージさんが話してくれました。世の中には、残念なこと、いじめが起きている。子ども間だけでなく、大人の間にも。いじめをした方は、洒落、冗談、おふざけという軽い気持ちかもしれないですが、相手は、そうではないんです。傷付きます。死に追いやることもあるんです。

笑いは潤滑油

の議論の前に、男女共同社会の実現には「人間らしさ」が大切です。では、人間らしさって何？それは、人間としての特性、つまり人を思いやる、人と仲良くする、人と助け合うことなんです。最近では、自分らしさの追求に焦点があたりがちですが、自分だけでなく、相手を尊重し認め合うことも忘れてはなりません。時には、体型や髪型が人とは異なるという理由で、いじめにつながってしまうこともあるようです。人との違い、それは、その人の個性です。お互いを尊重し認め合うこと、それは、男女共同参画への一歩前進です。

「笑つ門には福来たる」という言葉があるように、笑いは心や体にもいいことは既に知られています。

最近の研究では、この笑いが、がん細胞を殺すNK(ナチュラルキラー)細胞の活性化に効果があると言います。



明るさと元気を届けてくれた林家カレージさん

自分に力をつける

また、笑いは、家庭、地域、社会の潤滑油です。笑いがある夫婦は仲がよくなります。笑いがある地域は発展します。多少のもめ事も、笑いがあれば上手く解決できることもあります。



これからの社会は、誰かがいるから大丈夫と人頼みにせず、一人の人間として、自立していくことが大切です。

漫才の世界は、まさに男女共同参画で、どちらかがどちらかを頼ったらダメです。一人ずつの芸がしっかりしていて、はじめてお客様さんが納得できるんです。

これからの家庭は、どんどん便利になって、快適になっていきますが、夫婦が助け合う、つながり合うことが大事です。そのためにも、男も女も自立する力を身につけることです。

わたしの、我が家の男女共同参画！

男女共同社会の実現は、まずは、家庭からです。そこで、ご家庭で実践されている男女共同参画の例をご紹介します。

- 一、我が家の男女共同参画は、夫婦喧嘩である。
- 一、ゴミだし、風呂掃除、洗濯、食事の片付けを夫がしてくれる。
- 一、お互い、どちらかが外出するときは、どちらかが送迎する。
- 一、子育てについての方針、相談、悩み事を共に協力し合って行う。
- 一、妻が、外出や残業のときは、夫が食事を作る。

「家事は女性の仕事」という固定的な役割分担意識は、少しずつ薄らいできているように感じます。

最近、イクメン(育児を積極的に楽しんで行う男性)、カジダン(家事に積極的な男性)、弁当男子(自分でお弁当を作って通勤・通学する男性)という言葉があるように、生活の基盤である家庭において、男性の積極的な姿も見られます。

お互いが家事に参画し続けるコツは、小さなことでも「ありがとう」などの言葉がけと感謝の気持ちを表すことです。「定年後」と後回しにせず気づいた今、夫婦がお互いの思いを共有し、同じテーマにつけると素敵ですね！

